



DataRobot

<報道関係者各位>

2019年1月31日
DataRobot, Inc.

DataRobot、ガートナー社のマジック・クアドラント（2019年版）

データサイエンスおよび機械学習プラットフォーム市場において「ビジョナリー」に初選出 ～DataRobotの完成度の高いビジョンが「ビジョナリー」内で最も高い評価を獲得～

※当資料は、2019年1月30日に米国で発表されたニュースリリースの抄訳版です。
オリジナル版：<https://www.datarobot.com/news/press/datarobot-enters-visionary-2019-gartner-magic-quadrant-data-science-machine-learning-platforms/>

データサイエンスをビジネスに活用するデータサイエンティストは、世界中で読まれるビジネス・マネジメント誌で21世紀最もセクシーな職業と称されました。日本においても、一般社団法人データサイエンティスト協会が設立され、2019年1月現在、会員企業・団体が94を超えました。また、大学でも専門学部の設置が進むなどデータサイエンティストへのニーズが高まっています。

機械学習の自動化というカテゴリをリードし、企業におけるデータサイエンスの活用を推進するDataRobot, Inc.（本社：マサチューセッツ州ボストン、CEO：Jeremy Achin、以下DataRobot）は、ガートナー社が発行するレポート「マジック・クアドラント（2019年版）」（Magic Quadrant for Data Science and Machine-Learning Platforms）のデータサイエンスおよび機械学習プラットフォーム市場において、ビジョナリー（Visionary）で最も高い評価を獲得したことを発表しました。これは、完成度の高いビジョン（Completeness of Vision）が、高く評価された結果でありDataRobotがガートナー社の年次レポートにおいて初めて獲得した称号です。

2019年版のレポートに選出された17社のデータサイエンスベンダーは、（地域および業界ごとに）収益および顧客数の条件を満たし、さらに4つのユースケースシナリオのすべてにおいて、15個の重要な機能に関する閾値を達成する必要がありました。

DataRobotのCEO・共同創業者であるジェレミー・アシンは次のように述べています。

「ガートナー社のマジック・クアドラントレポートに選出されたのは今回が初めてですが、その中でビジョナリーとして認められたことを、誇りに思います。ビジョナリーの位置付けは、データサイエンスと機械学習の新時代をリードするという、弊社の創業理念とミッションを証明するものだと考えます。機械学習の自動化を実現する企業として、組織のデータサイエンス・AIの民主化やAI活用の加速化を実現し、また市場をリードする上で必要なインサイトを獲得できるよう、独自の方法でサポートしていきます。今後もエンドツーエンドのデータサイエンス機能を拡張・提供し、世界中の多くの組織がAI駆動型企業へと転換できるよう協業していきます」

2018年、DataRobotは3年連続で前年比3桁の成長を記録しました。2018年10月にシリーズDとして1億ドルを確保し（資金合計額2億2,500万ドル）、機械学習の自動化というカテゴリに特化したソリューションに継続的に投資しています。金融サービス、ヘルスケア、保険、製造など、世界中のさまざまな業界のお客様と協働してきた実績を基に、今後も新市場への参入に向け、積極的に取り組んでいきます。

DataRobotユーザーであるCredigyの上級統計学者、ジェームソン・スティルウェル氏は次のように述べています。



DataRobot

「DataRobot は、今までに見てきた中で最高の機械学習ツールです。時間を大幅に節約できるため、その分、モデリングにおける細かな調整作業に集中することができます。結果として課題に取り組み、独自のモデリングスキルを向上させる時間が増えたため、私たちが生み出すモデルは絶えず進化を続けています。」

【出典】

ガートナー社のデータサイエンスおよび機械学習のプラットフォームのマジック・クアドラント
(2019年版)

著者 : Carlie Idoine、Peter Krensky、Erick Brethenoux、Alexander Linden (2019年1月28日)

※ガートナー社のデータサイエンスおよび機械学習のプラットフォームのマジック・クアドラント
(2019年版) は DataRobot の [WEB サイト](#)からも確認できます。

●ガートナー社の免責事項

ガートナーは、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高の評価を得たベンダーのみを選択するようテクノロジーの利用者に助言するものではありません。

ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。

■「DataRobot, Inc.」について (製品詳細 URL : <https://www.datarobot.com/jp/>)

DataRobot はあらゆるレベルのユーザーが機械学習・AI を迅速に活用、ビジネスへ展開するためのエンタープライズ向け機械学習自動化プラットフォームを提供しています。数百種類におよぶパワフルなオープンソースの機械学習アルゴリズムから成るライブラリを組み込んだ DataRobot のプラットフォームは、予測モデルのトレーニングと評価のプロセスを自動化し、またそれらを同時並行に行うことで、大規模な AI 処理を可能にします。DataRobot はあらゆる規模の組織や企業が、最速で AI の導入と活用を成功できるようにサポートいたします。

日本では、すでに大阪ガス株式会社、トランスコスモス株式会社、パナソニック株式会社、三井住友カード株式会社、株式会社リクルートホールディングスなどを含む幅広い企業で導入され、成果をあげています。

商標関連

- ・「DataRobot」は DataRobot, Inc.の登録商標です。
- ・その他の会社名、製品名、サービス名等は、各社の登録商標または商標です。

報道関係者のお問い合わせ先

DataRobot Japan PR 事務局 (MSL in Japan 内) 浅野、小野

Email : datarobot_pr@msljapan.com